

日本精神保健福祉士協会全国大会 in愛知

プレ企画3 実施報告

チーム プレ企画3

- 牛場 裕治(総合心療センターひなが)
- 山本 綾子(三重県立こころの医療センター)
- 伊藤 太一(多度あやめ病院)
- 田中 雅也(障害者相談支援センターHANA)
- 渥美 有華(三重県立こころの医療センター)
- 木村 良輔(国立病院機構 榊原病院)

日本PSW協会全国大会とは？

- 精神保健福祉士の職能団体が年に1回開催する全国大会兼学会です。
- 参加者のほとんどがPSW
- 毎年
 - ★1日目 プレ企画（シンポジウムや研修）
基調講演など
 - ★2日目 一般演題発表
- 今回、三重県精神保健福祉士協会が企画主体となってプレ企画3をオール三重チームで実施してきました!!

何をしたのか

- 「その人の人となりを知る」とは？
— 支援における「視点」と「関わり」を学ぶ—
- ワークショップです
- 目的
 - ① PSWの「関わり」と「視点」「支援」を振り返る
 - ② PSWが大切にすべき専門性を振り返る
 - ③ 明日からまた現場でがんばるエネルギーを得てもらおう！

この企画の売り

- ☺ 事例検討を通じたグループワーク
 - 積極的な参加
 - 講義を一方向的に聞くのではなく、自分が参加して体験して学ぶ
- ☺ 自由な発想と発言の保障
 - 発言することの意味と大切さ
- ☺ 全国の仲間と知り合える
 - ネットワークの形成

どうしてこのような企画をしたか

私たちPSWっていったい
何をやる人なのか!?



制度の専門家？え？なんの制度の専門家？

法律の専門家ではないよね？

社会資源を紹介する人？え？紹介や説明だけをする人？

退院支援をする人？それだけじゃないよね？

え？え？え？

どうしてこのような企画をしたか

- 日々の実践の振り返り(点検)が必要!!
- なぜなら、私たちは対人援助の専門職だから
- 言語化するのが難しいことをあえて言語化する作業を通して、専門職としての価値、倫理、そしてあり方を振り返る

私たちが関わるご本人のために！！

オール三重チームで実施



実施内容

- 実際の事例を通して、「その人の人となりを知る」ためにはどのような視点が必要かを体験的に学びことを目指し、グループワークを実施。

この事例を通して、ここまでの話し合いや出た意見を振り返ったことをもとに、私たち精神保健福祉士が大切にすることは何か？

事例紹介

事例を深めるための質疑応答

ディスカッション①

ディスカッション②

総括

・ご本人をどんな人と捉えたか？
・このご本人に対して自分なら精神保健福祉士としてどのように関わっていこうと思うか？

生みの苦しみ

- 当日を迎えるまで打ち合わせを重ねる...
- リハーサルとして実際に事例検討をし...
- 何度も進行を見直し...
- 当日を迎えるころには不安しかない状態に



№	所属	氏名	発表タイトル	発表内容	発表形式	備考
15.00715.01	理工	藤井 健	15.00715.01	2015年度の研究開発 成果報告書(第1号)について 発表いたします。	ポスター	発表資料を 準備して、当日 提出
15.00715.02	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.02	2015年度の研究開発 成果報告書(第2号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.03	理工	アノシロシロ	15.00715.03	2015年度の研究開発 成果報告書(第3号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.04	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.04	2015年度の研究開発 成果報告書(第4号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.05	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.05	2015年度の研究開発 成果報告書(第5号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.06	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.06	2015年度の研究開発 成果報告書(第6号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.07	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.07	2015年度の研究開発 成果報告書(第7号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.08	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.08	2015年度の研究開発 成果報告書(第8号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.09	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.09	2015年度の研究開発 成果報告書(第9号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.10	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.10	2015年度の研究開発 成果報告書(第10号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.11	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.11	2015年度の研究開発 成果報告書(第11号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.12	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.12	2015年度の研究開発 成果報告書(第12号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.13	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.13	2015年度の研究開発 成果報告書(第13号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.14	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.14	2015年度の研究開発 成果報告書(第14号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.15	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.15	2015年度の研究開発 成果報告書(第15号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.16	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.16	2015年度の研究開発 成果報告書(第16号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.17	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.17	2015年度の研究開発 成果報告書(第17号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.18	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.18	2015年度の研究開発 成果報告書(第18号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.19	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.19	2015年度の研究開発 成果報告書(第19号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出
15.00715.20	理工	藤井健(15.00715.01)	15.00715.20	2015年度の研究開発 成果報告書(第20号)について 発表いたします。	ポスター	ポスター 提出

←当日の タイムスケジュール

あ・・・小さすぎて全然見えませんね



ちよつと拡大・・・

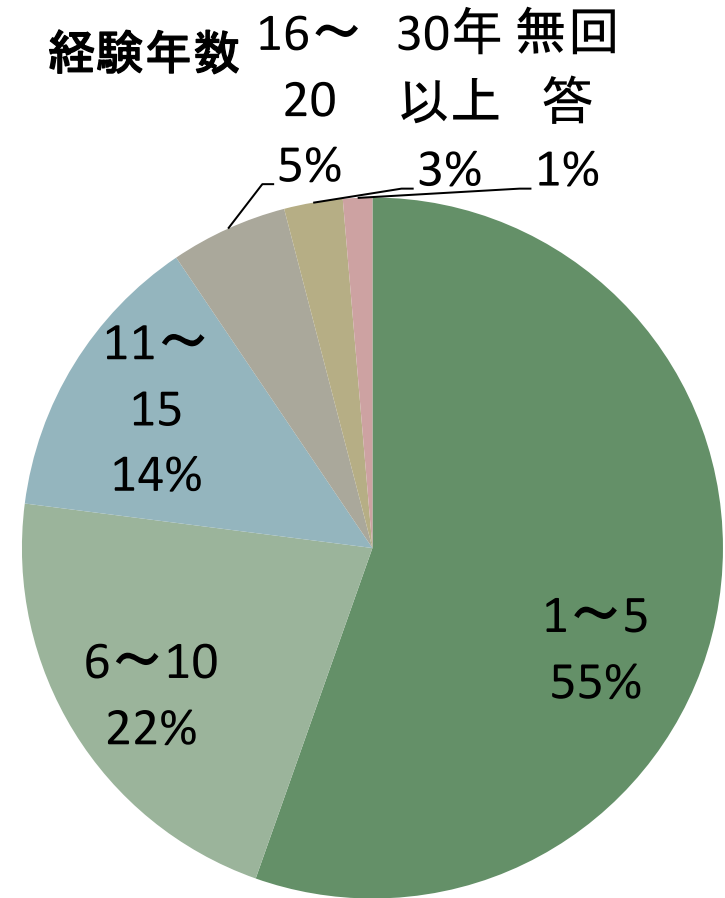
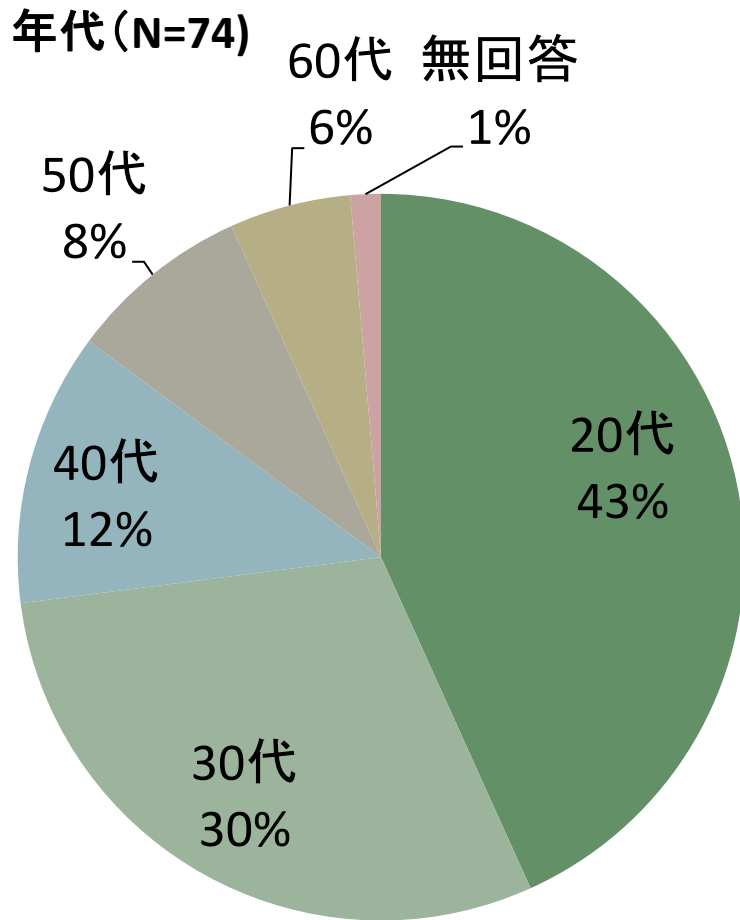
A	B	C	D	E	F
11:01~11:36	35分	PSWの専門性、視点を振り返る ディスカッション	各グループ *グループ内の進行 はグループリーダー	<p>グループ内で話し合う。</p> <p>◎この事例本人についてどう見立てたか？</p> <p>◎PSWとしての関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのひとにとっての幸せって？ ・どんな感情をいざいて生活しているのか？ ・どんな生活を送りたいと思っているのか ・そのひとにとっての社会的復権って？ <p>◎PSWの専門性、視点、態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題ばかりではなく強みをみているか？ ・その人と環境の接点に焦点を当てているか？ ・生活者としての視点は？ ・自分の中の感情は？揺れる気持ちはなかったか？揺れる気持ちはあってもよい。 <p>*私たちPSWが大切にすることは？</p>	<p>発問</p> <p>「この支援事例に対して、①あなたは事例本人をどんな人と思ったか？②その本人に対して自分なら、PSWとしてどのようなことに気を付けてかかわってほしいか？③この支援事例から考えられるPSWに必要な視点、姿勢、態度は何か」についてグループで話し合う。①②をまずグループ内で共有し、再度③についてグループ内で意見交換する。</p> <p>詳細 発問①</p> <p>「この支援事例に対して、自分はこの支援事例をどんな人と思ったか話し合ってください。」 →事例本人の理解、人となりの理解</p> <p>発問②</p> <p>「この支援事例にPSWとして自分が関わるならどんなことを意識するか、どんなことに気を付けて関わってほしいか話し合ってください。」 →事例提供者と比較して、自分を重ねて、支援者として今回の事例本人にかかわるにあたっての姿勢、態度、意識することを考える。 それが、PSWの専門性、視点やかかわり、態度、姿勢、その人との向き合い方、を考えることになる</p> <p>話し合い15分 発表5分</p> <p>発問③</p> <p>「この支援事例を通して、ここまでの話し合いや出た意見を振り返ったことをもとに、私たちPSWに必要な視点、姿勢、態度について話し合ってください。→私たちPSWが大切にすることは何かについて話し合ってください」</p> <p>話し合い10分 発表5分</p>

結果

- おかげさまで、参加者は約90名（定員いっぱい満席御礼）!!
- 事例検討を行い、事例について深めつつ、PSWらしさを振り返りつつ、あっという間の2時間。

グループリーダーの皆さんが、グループでの
ディスカッションを盛り上げてくれました！！
さすが、三重チーム!!

参加者の内訳



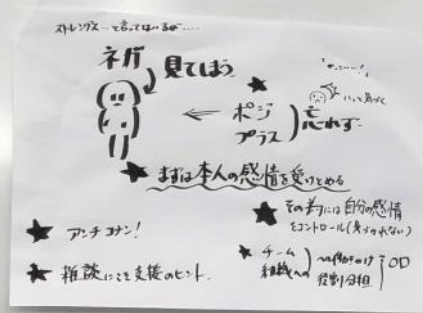
PSWとして大切にすべきこと

- 本人の意見にこそ支援のヒント
- アンチカン!

○ その人に
仲立てて

○ ネガティブ、ポジティブ
両方をみいかに

吐く域まで試みる



- あやうで人生にこの人の思いや
希望がある。

→ 世にいう感じではなく

- 本人をわかろうとする気持ち
- 人生をきちんとみていく(つらさ)
- 本人の希望が絶対(優先)
→ 最大限尊重する
- 生活者の視点を忘れない

参加者の気づきや感想

- 本人の人となりを知ることは、性格や生活歴を知るだけではなく、行動の理由やスタッフとの関係にも目を向けることが大切だと思いました。
- 実際の支援になると見落としがちになってしまう。「その人らしさ」「いいところ」「ニーズ」というところの大切さを再点検できる良い機会となりました。
- PSWの基本を改めて確認できました。本人を理解しようとする視点、「医療の中での生活ではなく、生活の中に医療」の視点を大切にしたいと思います。
- 頭のすみにはあっても普段なかなか意識してできていない、関わり方、視点の振り返りができました。
- 本人の希望はもちろんですが、それにいたった背景を生活歴や雑談の中から見つける視点を大事にしていきたいです。
- 「ご本人様の力を信じる！」ということが大切だと思いました。

参加者の気づきや感想

- 所属によるしほりがあるが、精神保健福祉士としてはご本人が生きたいように生きること、そのために仕事、ネットワークを広げたい。
- 他の人の多様な話を聞くと、視点が複数与えられて嬉しい。
- 「雑談にこそ支援のヒントがある」→明日より実践してみようと思います。
- 本人の想いをしっかりと聴くことを改めて大切にしたい。
- その人の人生をみていくこと
- 常識にとらわれない支援
- それまで歩んできた人生を大切にすること
- 病気や症状についての議論はほとんどないことが、PSWらしさの基本を確認しました。

企画メンバーが得たもの

- 全国大会の準備～本番までの一連の流れを通して、みんな精神保健福祉士なんだなと感じました。
- どの地域で働いていても、どの現場で働いていても、年代が違ってても、大事にしている事が同じというか…。だからこそ、困れば大事にしている所に戻ってどうするかを一緒に悩めた事はとても良かったです。
- 連携連携言われている世の中ですが、同じ目的を持って集まり、解決に向けて進んで行かないと連携にはならないので、顔の見える関係から始まり、目的達成に向けてチーム形成が行われ、同じ方向に進んで行く、それらも体験できて良かった。

➤ 企画を作るプロセスを通して

- ◆ いろんな年代、経験のPSWが集まり意見交換をすることで、新たな気づきもあり、企画を作り上げていくプロセス自体が有意義な時間でした。
- ◆ チーム構築による関係構築により、さらに関係深めていくことが出来るため、今後の三重Pの組織作りにおいて、プロジェクトごとにチーム構築を図っていくことも考えていければ活性化につながると感じました。

➤ プレ企画を通して

- ◆ プレ企画当日わたしのグループは、経験1年目～20年くらいまで初任者、中堅、ベテランの方がうまく配置されて、それぞれの立場から幅広い意見が集約できて、それぞれの立場においてそれぞれが気づきを得ることができたので、わたし自身も有意義に過ごすことができたと感じています。
- ◆ PSWとしての価値・倫理について、お互いが想いを語り、想いを共有することでの一体感がものすごく心地よくて、PSWになってよかった、この場にいられてよかったとひとりで感動してしまっ、実は途中で泣けてしまいそうでした。
- ◆ そんな人間味を感じられるところが、PSWの最大の魅力だと改めて感じています。

- 打ち合わせ段階
 - ◆ スタート段階では、内容がぼんやりしすぎて不安だった。
 - ◆ 事例が出てきてからは、やる事、考える事が具体的に見えてきて、当日のイメージも持てるようになったので楽しかった。
 - ◆ 会議中のほどよい脱線も良いアクセントになった。
 - ◆ 事例がとても興味深いものだったのでのめりこむ事ができた。
 - ◆ 木村さんのアセスメントも的確でほとんどの質問にしっかり返答されていた。
- 当日
 - ◆ 宮越さんの進行がアドリブ対応も含め達人技だった。
 - ◆ うまく「気付き」を促せる展開になっており、参加者の感想も「視点への気付き」などが多かった。
 - ◆ アンケートにもあったが、会場が広いためホワイトボードのみではやや見にくかったかも。
- 全体を通して
 - ◆ 打ち合わせも当日も、和やかな雰囲気が進められた。
 - ◆ アンケート結果にも三重県の和やかな雰囲気を感じられたとあった。
 - ◆ この和やかな雰囲気というのは三重県PSW協会の強みだと思う。
- 今後の実践に向けて
 - ◆ 今回の企画は一参加者としても考えさせられるものだった。
 - ◆ 三重県協会の役員の方々はいつも仕事の後に集まって遅くまで話し合ってもらっていたのかと感じ、頭の下がる思いだった。
 - ◆ 他機関のメンバーが集まり1つの事を企画する事の難しさ、楽しさを体感する事ができた。

➤ 企画を作ることを通して

- ◆ 事例検討という手法を使いつつ、一つの事例からPSWの価値の部分を般化してもらう、という流れだった。
- ◆ 終わってみれば、ケースメソッドの手法に近かったのかな、ということも思いましたが、**紆余曲折ありながら一つの形にまとまっていくというプロセス自体をチームで共有できたことが意義深いことだったように思います。**
- ◆ あまりこれまで絡みがなかった木村君、渥美さんはじめ、**グループリーダーの皆様ともお近づきになることができた**と思いました。
- ◆ チームワークを高めるためには、共通の目標があって、一緒に苦労、辛い、しんどい、喜び、楽しい、面白い、美味しいなどを経験することが大事というのが、今回のことを通して実感しました。
- ◆ 手前みそだと思いますが、よいフォーマットだと思います。今回は事例に導かれる形でこの形に収まりましたが、別の事例でも汎用できる研修のフォーマットができたのではないかと思います。

➤ 実践への応用

- ◆ PSWの魂の部分を確認しあえるので、それはモロ実践に反映されるのではないかと思います。

➤ 県協会として企画したことの意味

- ◆ **三重Pのワンチームでやったことも意味のあることだったかなと思います。**
- ◆ **三重Pのまとまりになったし、自信もついたし、次になにか三重Pで企画するときにも役立つと思います。**

- 当日までの企画、打合せなどの苦労や悩み、おもしろかったこと
 - ◆ 企画をするということが初めてだったので、**どういった流れで最終着地点にもっていくかを考えるというのがいかに難しいものなのかというのを知った。**
 - ◆ 一度流れを考えた後に、試しにやる場をもててよかったと思う
 - ◆ 打合せを繰り返すことだけではなく、実際にやってみることの大事さに気づいた
- 当日やってみて何を感じたか
 - ◆ 全国の知らない人たちとグループワークということで若干の緊張があった。
 - ◆ あんなに大人数なのに全体的な雰囲気も和気あいあいという感じがして驚いた
 - ◆ あの数時間はあっという間で、変な高揚感のまま過ぎ去った感じがしている。
 - ◆ 終わってみて、達成感のようなものを感じることができ、企画、GLをやってみてよかった。
- 今回の経験が日々の実践にどうつながりそうか
 - ◆ すぐに何かに活かせるというものではないかもしれないが、**次に企画する時にどういう流れでどういった手順でやるかということを考えるときの参考になる。**
 - ◆ グループの雰囲気作りはグループワークが始まる前からやっておくとよい。
 - ◆ 今まで研修で三重県のPSWと会うことはあったが、仕事以外で一緒に何かをすとか話をするということがなかったので、今回一緒にやらせてもらって、今後話がしやすくなったと思う。

では、改めてPSWって何をする人？

- 目の前のご本人と向き合い、ご本人が希望する生活を実現するために一緒に悩み、考える人。
- そのために、様々な職種、立場、役割の人と協働します。ご本人と様々な資源（インフォーマルなものも含めて）を繋げる。
- 私たちは当たり前のことですが、目の前の方を一人の生活をする人として「ご本人」として向き合う。

だからこそ忘れてはいけないこと

- PSWに限らず私たち対人援助の専門職は、目の前のご本人の人生に関与していること、人生に関わっていることを忘れてはならない
- 目の前のご本人の人生を変えてしまう可能性があるということを忘れてはならない

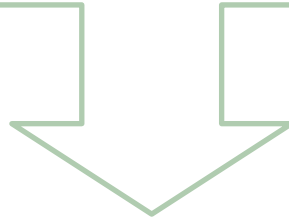
自己研鑽をしない精神保健福祉士は、
精神保健福祉士ではない！！

By レジェンド

個人的には今学会一番の
パワーワード!!

まとめにかえて

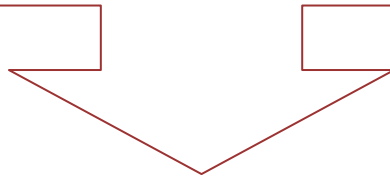
- 全国大会という舞台で、こういった企画の立案、運営をすることは新たな学びと、スキルアップの機会となります



今回の体験を日々の実践、職場、PSW協会
そして目の前のご本人に
還元していくか？

おわりに

- 本企画およびアンケート結果を通して、多くの参加者が精神保健福祉士としての「原点」を共に振り返り、考える機会になったのではないかと感じています。
- 視点や関わり、専門性について振り返り、語り合うことができるのは、精神保健福祉士が一堂に集う全国大会ならではの!!ぜひ、全国大会へ参加を!! 来年は北海道ですよ(*^_^*)
- 今回の企画が、参加した方、企画の立案・運営に関わった仲間にとって、日々の実践に繋がる一つの「種」になっていたら幸いです。この「種」が芽を出し、花を咲かせ、実になり、また次の世代の精神保健福祉士に繋がっていくことを願っています。



皆様これからも一緒に
三重県PSW協会を盛り上げていきましょう!!